

年頭のごあいさつ

明るい未来に向かって

市民の皆さま、新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日ごろから市政に対する温かいご支援とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、国際的には、アメリカ大統領就任後も各国で大統領選挙やさまざまな住民投票が行われるなど、世界各地で政治が大きく揺れた年であり、また、治まる気配のない相次ぐテロ行為や、北朝鮮での核実験、そして北海道上空を通過する弾道ミサイルが2度も発射されるなど、国際情勢の不安定さが一段と増した年でもあったと思います。

一方、国内においては、政策が問われた衆議院総選挙が10月に行われましたが、現行政権の継続という結果となり、その後の国会における首相の所信表明演説で「国の未来を切り拓くのは政策の実行」と今後ますます政策を推し進める発言をされたことが印象的でありました。私といたしましても、まちの未来を切り拓くためには、皆さんと建設的な意見を交わしながら、効果的な政策を実行することが重要と常々考えており、現在、種々施策を打ち出して、まちづくりに全力を挙げて取り組んでいるところであります。

そのような中、本市においては、昨年までこれまでに育ててきたまちづくりの芽が大きく結実した一年でありました。一つとしては、三笠高校の高校生レストランが今年7月22日にオープンすることが決定し、最終調整の段階に入ってきたところであります。レストランの名称「エソール(羽ばたく)」のとおりに高校生が夢に向かって飛躍するように行政も全力でバックアップしていきますので、皆さんも高校生レストランにぜひ足を運んで高校生を応援していただければ幸いです。

また、三笠ジオパークについては昨年11月に初めての再認定審査を受け、12月22日に再認定の連絡を頂きました。これまでの取り組みが評価された結果であり、今後さらに皆さんに理解され親しまれる事業へと展開していきたいと考えています。石炭地下ガス化についてもフィールド実験が成功し、いよいよ実証実験の段階に移ることとなり、ガス化に向けてまた一歩前進したところです。そして、イオン農場では昨年も観光ツアーが実施され、三笠メロンの魅力を都市住民に発信し、本市の農産物のPRと交流人口の増加に努めることができるなど、取り組んできた施策について実績と効果が着実に見えた年となりました。

今年の干支は戌(いぬ)です。「戌」の文字の形には「ひとまとめする」という意味があるそうです。今年は育ててきたまちづくりの芽がさらに大きく実を結ぶよう、各種施策を一つにつなぎ合わせ、ますます大きな力を発揮できる事業展開を意識してまいります。これからも明るい未来に向かって、まちづくりに全力を尽くしてまいりますので、引き続き市民の皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が三笠市にとりましても、市民の皆さんにとりましても、素晴らしい一年となりますことを祈念し、新年のご挨拶といたします。

(広報みかさ平成30年1月号に掲載したものです。)